

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 登録実用新案公報 (U)

(11) 実用新案登録番号
実用新案登録第3143742号
(U3143742)

(45) 発行日 平成20年8月7日 (2008.8.7)

(24) 登録日 平成20年7月16日 (2008.7.16)

(51) Int.Cl.
F 1
F O 4 D 25/08 (2006.01) F O 4 D 25/08 3 O 1 Z

評価書の請求 未請求 請求項の数 1 書面 (全 10 頁)

(21) 出願番号 実願2007-9673 (U2007-9673)
(22) 出願日 平成19年11月18日 (2007.11.18)(73) 実用新案権者 507261663
竹之下 ▲祐▼一
宮崎県宮崎市天満町10番31号
(72) 考案者 竹之下 ▲祐▼一
宮崎県宮崎市天満町10番31号

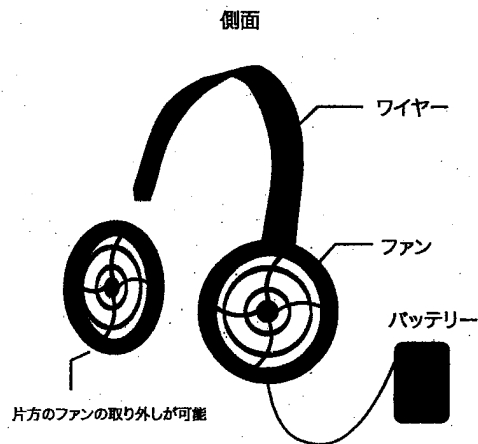
(54) 【考案の名称】 携帯型小型送風機

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】携帯型の送風ファンにより屋外の作業、ベビーカー、車イスでの外出、スポーツ観戦時等の防暑対策に多目的に簡便に利用する。

【解決手段】小型電動ファンで、吸気・排気を行い、自然の空気(風)を吹きつけ、扇風機、温風器と同様の涼感、温感が得られるものとした。

【選択図】 図1



【実用新案登録請求の範囲】**【請求項 1】**

空気の吸、排出口を備えたバッテリー稼働の小型ファンを特徴とする携帯型小型送風器。

【考案の詳細な説明】**【技術分野】****【0001】**

本考案は、防暑、防寒対策のための携帯小型送風機に関するものである

【技術背景】**【0002】**

これまでの防暑、防寒対策として、クーラー、扇風機など方法があるが、これらは室内車
内における対策であり、以外の場所では、うちわ、扇子の古来の方法による方法しかない
現状である。

10

【0003】

本考案は、自然の空気を利用、ファンで強制的に取り入れた空気（外気）を人体に直接吹
き当てる事により涼しさをまた、ヒーターを内蔵することで暖かさが得られる事とし、こ
れを解決するものである

【0004】

小型ファンを乾電池または、バッテリー（充電式を含む）で稼働。これを吸・排気用とし
て使用することとした。風量も本考案の稼働時間も本考案目的に適しており、これを使用
することとした

20

【考案の開示】**【考案が解決しようとする課題】****【0005】**

現状の防暑対策としては、屋内・車内においては冷房設備によるもの

方法があるが屋外においては、古来のうちわ、扇子等をはじめ衣料素材による対処の方法
しかないのが現状である。

【課題を解決するための手段】**【0006】**

本考案は、小型ファンで自然の空気を必要な部分に吹き付けることができることにした
ものである。

30

【考案の効果】**【0007】**

本考案の方法では携帯型の送風ファンより屋外の作業、ベビーカー、車イスでの外出 ス
ポーツ観戦時等の防暑対策に多目的に簡便に利用できる。

【実用例 1】**【0008】**

図 1 は、フレキシブルワイヤーの両端に取り付けた物であり、ファンは取り外し可能にし
た。またファンの個数を増やすこともできることにした。

【0009】

図 2 は、首にかけた際の使用図である。

40

【0010】

図 3 は、ベビーカーに取り付けた使用図である。

【0011】

図 4 は、イスに取り付けた使用図である

【0012】

図 5 は、ファンの内側にヒーターを内蔵し、冬は温風を送る使用図である

【0013】

図 6 は、電源供給をアームからではなく、それぞれのファンが単体で動き、アームからは
ずして、ヘッドフォン型アームなど、いろいろな型のアームへの付け替えも可能にした使
用図である。

50

【 0 0 1 4 】

図 7 は、取り外し可能にすることにより、複数のファンを取り付けられるようにした 使用図である。

【 0 0 1 5 】

図 8 は、バッテリーを内蔵させ、より両手を使えるフリーハンド型にした使用図である。

【 0 0 1 6 】

図 9 は、ファン又は、アームにソーラーパネルに取り付け E C O m o d e に切り替えられる ようにした使用図である

【 0 0 1 7 】

図 1 0 は、ワイヤレスのリモコンでファンの回転数、風量、送風、温風、E C O m o d e に切り替えられるようにした使用図である。 10

【 0 0 1 8 】

図 1 1 は、夏に川、海のレジャー、雨の日に傘に取り付けた事を、考慮して完全防水、生活防水にした使用図である。

【 0 0 1 9 】

図 1 2 は、充電方法としてコンセントからだけでなく、U S B ポート、車のシガーライターからも充電できるようにした使用図である。

【 0 0 2 0 】

図 1 3 は、アーム部分外側に蛍光塗料または、ライトなどを取り付け、夜の屋外で使用の際の安全性も考慮した使用図である 20

【 0 0 2 1 】

図 1 4 はファン自体に香料付きの物を使い、身体への送風で香水と近い効果を持ち、またアーム部分に香りのカートリッジを左右に取り付けられるようにし、ファンで拡散することによりし、左右で違う香りのカートリッジを取り付けられる用にした使用図である。

【 0 0 2 2 】

図 1 5 は、ファンの外周りにダイヤル型の送風口調節つまみを付け、送風口を拡げたり、狭めたりする事により同じ風量でも風の強弱をつけられるようにした使用図である。

【 0 0 2 3 】

図 1 6 は、ファンが単体でも動くことにより、ファンに手首に付けられるストラップを付けペットの散歩の時など、気軽に持ち出せ、キーフックでバックやズボンのベルトに付けて持ち運べるようにした使用図である 30

【 産業上の利用可能性 】

【 0 0 2 4 】

ファンの回転により屋外では、簡便に涼、温感効果が得られ、併せて室内利用においても冷房暖房の利用も軽減されることから、現状の課題である地球環境対策の一助にもなるものである

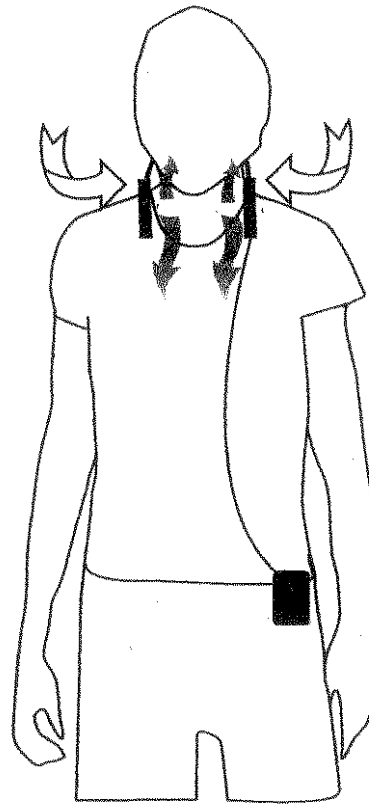
【 0 0 2 5 】

アームとファンとは、接着剤、加熱圧着等で簡単に剥がれないよう取り付けること。またバッテリーは、ベルトに取り付け方法や、ポケットに収納する方法とする。ファンとバッテリーを結ぶ電線は、簡単に離れないよう結線する 40

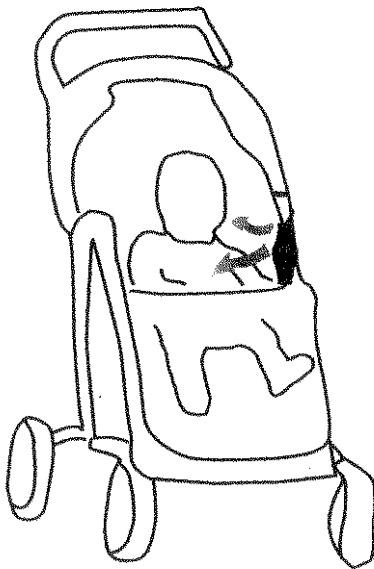
【図 1】



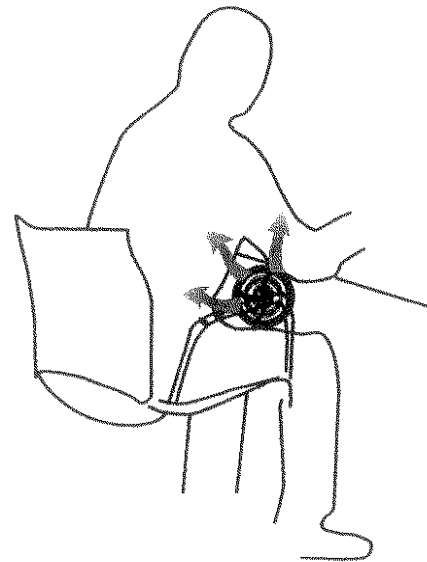
【図 2】



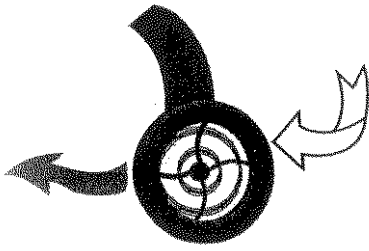
【図 3】



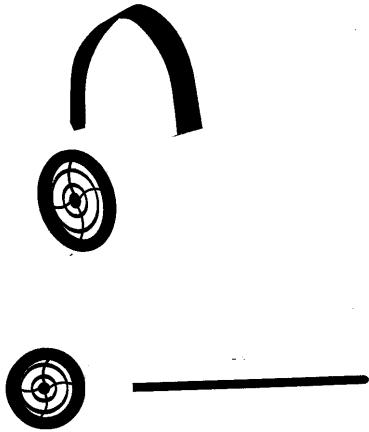
【図 4】



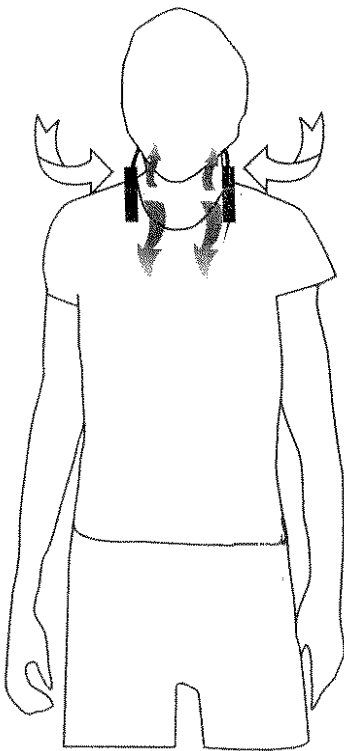
【図 5】



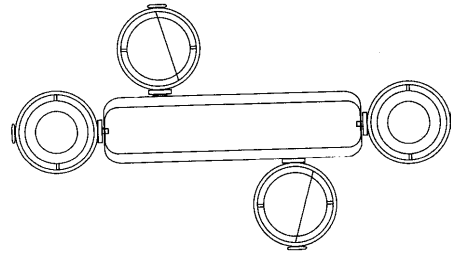
【図 6】



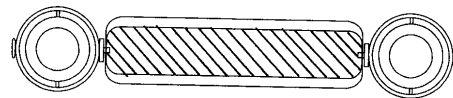
【図 8】



【図 7】



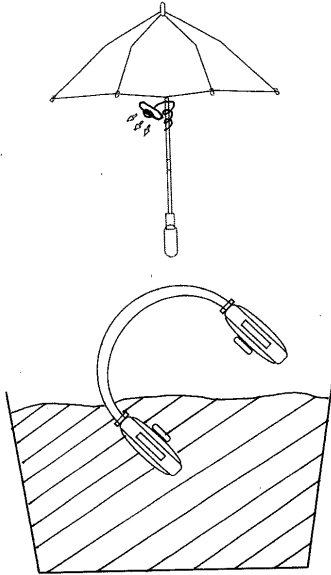
【図 9】



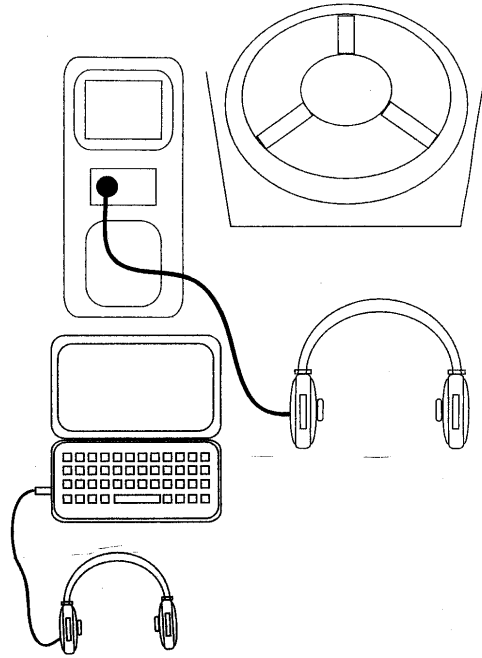
【図 10】



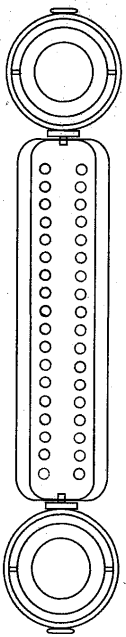
【図 1 1】



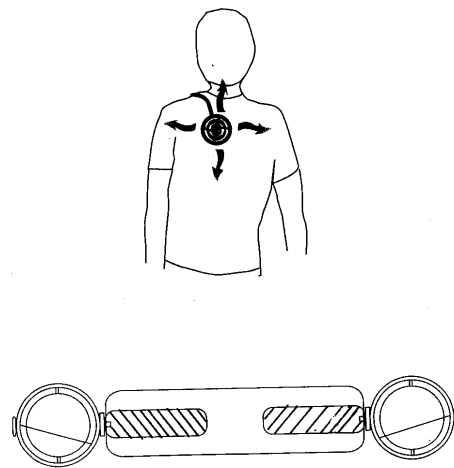
【図 1 2】



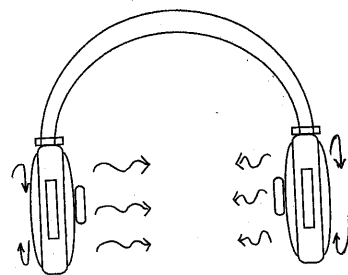
【図 1 3】



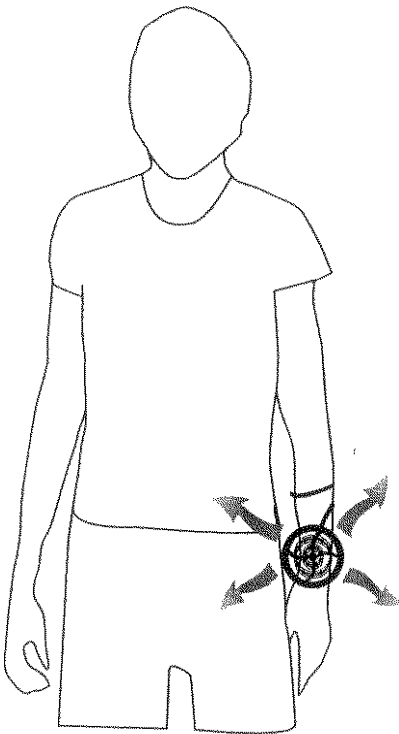
【図 1 4】



【図 1 5】



【図 16】



【手続補正書】

【提出日】平成20年5月24日(2008.5.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【考案の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本考案は、防暑、防寒対策のための携帯小型送風機に関するものである

【技術背景】

【0002】

これまでの防暑、防寒対策として、クーラー、扇風機など方法があるが、これらは室内車内における対策であり、以外の場所では、うちわ、扇子の古来の方法による方法しかない現状である。

【0003】

本考案は、自然の空気を利用、ファンで強制的に取り入れた空気（外気）を人体に直接吹き当てる事により涼しさをまた、ヒーターを内蔵することで暖かさが得られる事とし、これを解決するものである

【0004】

小型ファンを乾電池または、バッテリー（充電式を含む）で稼働。これを吸・排気用として使用することとした。風量も本考案の稼働時間も本考案目的に適しており、これを使用することとした

【考案の開示】

【考案が解決しようとする課題】**【0005】**

現状の防暑対策としては、屋内・車内においては冷房設備によるもの方法があるが屋外においては、古来のうちわ、扇子等をはじめ衣料素材による対処の方法しかないのが現状である。

【課題を解決するための手段】**【0006】**

本考案は、小型ファンで自然の空気を必要な部分に吹き付けることができることにしたものである。

【考案の効果】**【0007】**

本考案の方法では携帯型の送風ファンより屋外の作業、ベビーカー、車イスでの外出 スポーツ観戦時等の防暑対策に多目的に簡便に利用できる。

【実用例1】**【0008】**

図1は、フレキシブルワイヤーの両端に取り付けた物であり、ファンは取り外し可能にした。またファンの個数を増やすこともできることにした。

【0009】

図2は、首にかけた際の使用図である。

【0010】

図3は、ベビーカーに取り付けた使用図である。

【0011】

図4は、イスに取り付けた使用図である

【0012】

図5は、ファンの内側にヒーターを内蔵し、冬は温風を送る使用図である

【0013】

図6は、電源供給をアームからではなく、それぞれのファンが単体で動き、アームからはずして、ヘッドフォン型アームなど、いろいろな型のアームへの付け替えも可能にした使用図である。

【0014】

図7は、取り外し可能にすることにより、複数のファンを取り付けられるようにした使用図である。

【0015】

図8は、バッテリーを内蔵させ、より両手を使えるフリーハンド型にした使用図である。

【0016】

図9は、ファン又は、アームにソーラーパネルに取り付けE C O m o d e に切り替えられるようにした使用図である

【0017】

図10は、ワイヤレスのリモコンでファンの回転数、風量、送風、温風、E C O m o d e に切り替えられるようにした使用図である。

【0018】

図11は、夏に川、海のレジャー、雨の日に傘に取り付けた事を、考慮して完全防水、生活防水にした使用図である。

【0019】

図12は、充電方法としてコンセントからだけでなく、U S B ポート、車のシガーライターからも充電できるようにした使用図である。

【0020】

図13は、アーム部分外側に蛍光塗料または、ライトなどを取り付け、夜の屋外で使用の際の安全性も考慮した使用図である

【0021】

図 1 4 はファン自体に香料付きの物を使い、身体への送風で香水と近い効果を持ち、またアーム部分に香りのカートリッジを左右に取り付けられるようにし、ファンで拡散することによりし、左右で違う香りのカートリッジを取り付けられる用にした使用図である。

【 0 0 2 2 】

図 1 5 は、ファンの外周りにダイヤル型の送風口調節つまみを付け、送風口を拡げたり、狭めたりする事により同じ風量でも風の強弱をつけられるようにした使用図である。

【 0 0 2 3 】

図 1 6 は、ファンが単体でも動くことにより、ファンに手首に付けられるストラップを付けベットの散歩の時など、気軽に持ち出せ、キーフックでバックやズボンのベルトに付けて持ち運べるようにした使用図である

【産業上の利用可能性】

【 0 0 2 4 】

ファンの回転により屋外では、簡便に涼、温感効果が得られ、併せて室内利用においても冷房暖房の利用も軽減されることから、現状の課題である地球環境対策の一助にもなるものである

【 0 0 2 5 】

アームとファンとは、接着剤、加熱圧着等で簡単に剥がれないよう取り付けすること。またバッテリーは、ベルトに取り付け方法や、ポケットに収納する方法とする。ファンとバッテリーを結ぶ電線は、簡単に離れないよう結線する

【図面の簡単な説明】

【 0 0 2 6 】

【図 1】フレキシブルワイヤーの両端に取り付けた物であり、ファンは取り外し可能にした。またファンの個数を増やすこともできるようにした。

【図 2】首にかけた際の使用図である。

【図 3】ベビーカーに取り付けた使用図である。

【図 4】イスに取り付けた使用図である

【図 5】ファンの内側にヒーターを内蔵し、冬は温風を送る使用図である

【図 6】電源供給をアームからではなく、それぞれのファンが単体で動き、アームからはずして、ヘッドフォン型アームなど、いろいろな型のアームへの付け替えも可能にした使用図である。

【図 7】取り外し可能にすることにより、複数のファンを取り付けられるようにした使用図である。

【図 8】バッテリーを内蔵させ、より両手を使えるフリーハンド型にした使用図である。

【図 9】ファン又は、アームにソーラーパネルに取り付け E C O m o d e に切り替えられるようにした使用図である

【図 1 0】ワイヤレスのリモコンでファンの回転数、風量、送風、温風、E C O m o d e に切り替えられるようにした使用図である。

【図 1 1】夏に川、海のレジャー、雨の日に傘に取り付けた事を、考慮して完全防水、生活防水にした使用図である。

【図 1 2】充電方法としてコンセントからだけでなく、U S B ポート、車のシガーライターからも充電できるようにした使用図である。

【図 1 3】アーム部分外側に蛍光塗料または、ライトなどを取り付け、夜の屋外で使用の際の安全性も考慮した使用図である

【図 1 4】ファン自体に香料付きの物を使い、身体への送風で香水と近い効果を持ち、またアーム部分に香りのカートリッジを左右に取り付けられるようにし、ファンで拡散することによりし、左右で違う香りのカートリッジを取り付けられる用にした使用図である。

【図 1 5】ファンの外周りにダイヤル型の送風口調節つまみを付け、送風口を拡げたり、狭めたりする事により同じ風量でも風の強弱をつけられるようにした使用図である。

【図 1 6】ファンが単体でも動くことにより、ファンに手首に付けられるストラップを付けベットの散歩の時など、気軽に持ち出せ、キーフックでバックやズボンのベルトに付け

て持ち運べるようにした使用図である